



## 言葉と人権

1学期末、生徒会執行部が中心となって人権全校集会を行いました。初めに、執行部員で大栄中学校が掲げている「いじめ撲滅宣言」「コロナ差別に負けない宣言」を読み上げ、全校生徒・教職員で再確認しました。その後、これまで各クラスで話し合ってきたクラスの良いところ・課題点を明確にし、最終的にクラス全体で決めた「人権尊重宣言 2021」を発表しました。この日までの取り組みを通して、一人ひとりがいじめや人権について考えることにつながっていると感じました。

詩人、金子みすゞさんの詩「こだまでしょうか」を紹介します。

言葉はこだま。言葉は言霊（ことだま）。言葉はもう一人の自分です。

「人権」というたった二文字の意味を正しく理解し、常に意識して行動できる人になるためには、自分の「言葉」について考えることが大事です。

どんな言葉を知っているか、どんな言葉を使うかで、「考え方」も「かかわり方」も変わってきます。言葉に関する感性を磨き、さらに素敵な言葉があふれる学校にしていきたいと思います。

こだまでしょうか  
金子みすゞ  
「遊ぼう」 っていうと  
「遊ぼう」 っていうと  
「馬鹿」 っていうと  
「馬鹿」 っていうと  
「もう遊ばない」 っていうと  
「遊ばない」 っていうと  
そうして、あとで  
さみしくなって  
「ごめんね」 っていうと  
「ごめんね」 っていうと  
こだまでしょうか、  
いいえ、誰でも。

## 生徒・保護者アンケート結果と2学期の取り組みについて

1学期に実施した生徒・保護者アンケートなどをもとに、夏休み中に教職員で成果と課題、2学期に向けての取り組みについて話し合いをしました。

### 生徒アンケート結果から

肯定的評価が5ポイント以上上回る項目が59%以上ありました（5ポイント以上下回る項目はなし）。

30ポイント以上上回った項目が次の2項目です。

「わたしは、北栄町のよさを知っており、北栄町のことが好きだ」

「学校で実施した朝新聞を含めて、以前より、新聞に目を通すことが増えた」

コミュニティ・スクールとして様々な活動を行ってきた成果が少しずつ表れてきているものとうれしく思います。

また、あと少しで30ポイントという項目に「わたしは、家での役割（仕事）がある」がありました。この結果は本当にありがたいと捉えています。それは、家での役割（仕事）の経験を積むことで、自ら段取りを考え工夫するようになったり、責任を持つことで自主性が身についたりすることが期待できます。また、「家族の一員として働く意義」を持つことは、やがて社会に出て「社会のために働く意義」を持つ架け橋になっていきます。さらに、お家の人に褒められるなど認められることで自信がつくようになり、自己肯定感を育むことに繋がっていくと考えているからです。

上記以外で、教科に関する項目以外で10ポイント以上上回った項目が次の12項目です。

「わたしは、さわやかな挨拶（先・見・笑・大）ができています」

「わたしは、無言美化ができています」

「わたしは、2分前着席ができています」

「部活動が楽しい。楽しかった」

「朝読書に熱心に取り組んでいる」

「学校行事（生徒会企画や各種委員会のイベントも含む）で、活躍する場面があった」

「小学生や高校生との交流が自分の役に立った」

「家庭で学習する習慣がある」

「家の方は、わたしの力が伸びるように励ましてくれる」

「家の方は、挨拶や正しい言葉づかいを教えてくれる」

「家で、学校のことをよく話す」

「わたしは、ボランティア活動や地域の行事に積極的に参加している」

また、各教科について、「わたしは、〇〇の学習に意欲的に取り組んでいる」「先生は、〇〇の学習で教科の力がつくように工夫して教えてくれる」が概ね95%以上の肯定的評価と伸びていることをとてもうれしく思います。

今年度の学校経営方針に「当たり前のレベルのさらなる向上」を挙げていますが、生徒会活動を中心に生徒の意識の



向上がみられること、ご家庭でも様々な面でお子さまの成長に繋がる働きかけ等があることを本当にうれしく思います。昨年度比で多くの項目で上回る項目が増えましたが、慢心することなく今後も生徒のために教育活動の充実に邁進していく所存です。今後とも様々な面でのご支援ご協力をよろしくお願い致します。

## 保護者アンケート結果から

昨年度比で5ポイント以上上回った項目が次の1項目です。

### 「お子さんは家庭で勉強する習慣がある」

同じ項目で、生徒たちと保護者の捉え方が同じです。長年の本校の課題でしたが、年々改善の方向に向かっていると感じています。昨年度の「学校だより」で、CRT（目標基準準拠テスト[絶対評価]）の得点率の結果の上昇に係る分析でも書いたことですが、学力の定着を図るためには家庭学習が欠かせません。ご家庭での良い学習習慣が少しずつ身についてきていることが、今年度のNRT（集団基準準拠テスト [相対評価]）結果にも表れてきています。

今後も生徒会の学習委員会を中心に、家庭学習のさらなる定着をするための取り組みを仕掛けていってけると期待しています。また、個人個人の自覚と学習への意欲を高めていくことが重要ですので、学校の授業で知的好奇心を刺激するような授業、より魅力ある授業づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

これからもご家庭と連携しながら取り組んでいきたいと思ひますのでよろしくお願い致します。

逆に5ポイント以下下回った項目は次の4項目でした。

### 「生徒が部活動を通して体力・技術を高めるとともに、人格の高揚をはかる取り組みを行っている」

### 「お子さんは家で挨拶（「おはよう」「いただきます」「おやすみ」など）ができる」

### 「学校とのコミュニケーションをとるよう心がけている」

### 「家庭で、子どもの将来の夢や進路について、子どもと話し合っている」

同じような項目でも、保護者の方と生徒たちとの捉え方に差がある項目があります。特に、部活動については保護者アンケートでは、保護者の視点で課題を感じておられることがあるのだと捉えています。気になることや課題だと感じることがありましたらより良い学校教育に繋げていくため、ご遠慮なくご相談いただければと思ひます。

## 教職員の話し合いから(主な取り組みについて)

- 【学習指導】2分前着席の徹底。授業の始めと終わりの挨拶での「分離礼」の徹底。自学ノートを含めた宿題を最後までやりきらせる。
- 【学級経営】学活でのいいところ見つけや短学活のSST（ソーシャルスキルトレーニング）などを通して仲間づくりを意識して取り組んできたが、生徒同士のトラブルも数回起こった。学級目標、人権尊重宣言とも繋げ、集団としてどうあるべきかという指導を継続していく。また、教室環境整備や帰りの会のあり方など、一人ひとりが活躍できる場を増やす。
- 【キャリア教育】1年生の「働く意義」「社会人に学ぶ」、2年生の「上級学校調べ」、3年生の「レインボー面接（高校生面接官による面接練習）」も含めた面接練習と進路学習、進路相談など、2、3学期において各学年で生徒の意識をさらに高め、次学年（高校等）に繋げる。
- 【人権教育】「シトラスリボン」や「人権ワッペン」のような校外への啓発になる取り組みに今後も取り組み、さらに生徒に自信をつけさせたい。自分の問題として捉えていない生徒に対して、個に対する指導を検討・実践する。LGBTやSDGsなどの新たな人権問題についても、真剣に考え自分の意見を持てる学期にしたい。自分のことを自信をもって話せる生徒が増えて、学校に良い影響を与えている（例：生徒会）。今後もそれを教職員はバックアップし、リーダー育成にも繋げたい。学校での人権学習の内容が家庭での話題になり、生徒、保護者のさらなる意識の高揚に繋がるよう工夫していきたい。
- 【情報教育】生徒がICTを活用した授業のさらなる推進を図る。機器の利用目的の再確認を行う。
- 【生徒会】地域に出での活動機会を増やす。
- 【生徒指導】目標指標をクリアしているが、「もう一度学校のきまりを考えさせたい」。2学期に提示できる場を設定する（例：全校朝会で生活安全委員会より、「今月の生活きまりチェック」など）。
- 【教育相談・不登校対応】アセスメント（課題の背景には必ず理由があると捉え、その要因がどこに隠れているかを生徒たちの心理面・発達面のほか、家庭生活・学校生活の中から総合的に見立てること）シートを活用して、学校全体で不登校対策にさらに取り組む。小嶋スクールカウンセラーによる授業を実施する（3年目）。
- 【保健指導】引き続き保健体育委員会のメディアチェックを継続する。未治療者への個別相談を通じて、治療率アップを図りたい。今年度も薬物乱用防止教育、喫煙防止教育等の講演会を各学年で実施する。

